

第四中・第八中学校区 第2回合同地区懇談会ニュース

平成30年3月6日発行
第四中・第八中学校区
合同地区懇談会事務局

昨年度に引き続き今年度も、両校区の2回目の地区懇談会は、合同で行いました。
今回は、両校区内で実際に統合新校としてスタートを切った美鳩小学校の佐藤民男校長先生に「みんなで新しい地域を創ろう」をテーマに基調講演をお願いし、実際の統合新校の様子とこれからの地域の有り方について提言をしていただきました。
その後、基調講演を受けて、私たちにできることなどについて、8つのグループに分かれて懇談しました。

【参加人数】第四中学校区…22名
第八中学校区…28名



〈挨拶〉第四中学校区地区懇談会 代表 青柳 通 さん

寒い中、たくさんの方々にご集まりいただき誠にありがとうございます。

学校の統合が進み、新しい地域を創っていく上で様々な活動の場がある中、今日の基調講演や懇談の内容を少しでも役立てていただきたい、と思います。

みんなで新たな地域を創ろう！（提言）

美鳩小学校 校長 佐藤 民男 氏



1 学校再編に関わる自己紹介

- ・ H19～20年度 桃園第三小閉校 ⇒ 桃花小開校(主幹教諭)
- ・ H22～23年度 野方小閉校 ⇒ 平和の森小開校(副校長)
- ・ H28～29年度 大和小閉校 ⇒ 美鳩小開校(校長)
⇒過去3回統合に携わった。作業の流れは同じ部分もあるが学校や地域によって課題は異なると感じている。

2 統合新校1年目の美鳩小の子どもたち

- ・ 678名でスタート（H29年度現在、中野区で一番大きい学校）
- <統合での成果> *子どもたちは予想通り、すぐに慣れて活動し始めた。
- ・ 人数が増えて、校内に活気があふれている。（例：運動会など）
- ・ 子ども同士の交流が増えた。友達が増えた。コミュニケーションが増した。
- ・ 活動地域が広がった。（放課後の遊び、大和西児童館、若宮児童館など）
- ・ 新たな人間関係の下、登校しづり等の改善も見られている。

<統合での課題>

- ・ 人数に対して、施設が狭くて対応しきれないことがある。
（例：学芸会の鑑賞時間を学年で入れ替え制にするなどして工夫）
- ・ 多人数による行事等の難しさ。
（例：移動教室など、大人数では受け入れ先が少ない）

3 地域の中の美鳩小

- ・ 大和地区と鷺宮地区の小学校として誕生！
⇒学校の教育理念（ミッション）「自信をもち、輝いている子」
- ・ 子どもが自己肯定感を高め、自信をもって生き生き活動する学校
- ・ ふるさと大和・若宮地区を愛し、誇りに思う心を育み、地域の学校として保護者・地域に信頼される学校

◆ 2つの地域で活躍する子どもたち

- ・ 昨年12月10日（日）に地域行事が重なった事例
大和地区…妙正寺川マラソン大会 鷺宮地区…ソフトボール大会
<子ども> どっちに出ようかな？（迷う）
<学校> 校長⇒大和地区 副校長⇒鷺宮地区
行かなかった方に、冷たいって言われないかな？（気遣い）
<地域> 今年は子どもの集まりが少ないな。どうしてかな？（新たな悩み）
- ・ 過去の体験事例
<地域> 行事の日にちが重なり、子どもたちが集まらない！

⇒地域で子どもの取り合いが始まる！子ども、学校、そして地域が疲弊する。

4 学校再編（統合）を利用して、新たな地域を創造する！

- ◆ 人口減少社会は避けられない。（目に見えぬ有事！）すでに始まっている。
- ・ 美鳩小の学区は、しばらく増えていくが、十数年先は、確実に減少する。
⇒今から備えが必要。
- ◆ 歴史あるものは止められない！ しかし…。
- ・ お祭りなどの「伝統・文化」は守るべき（鷺宮囃子、八幡祭りなど）だが、地域行事は昔の人も地域のために創ってきたのだから、見直しや新たに創っていくことも、できるのではないだろうか？
⇒「第〇回〇〇会」を自分の代ではなくせない！と思いがちではある。
気持ちは痛いほど分かる。が、問題の先送りは、痛み悩む人が増えるだけ。
- ◆ 学校再編（統合）の「今」を利用する。
- ・ 地域で連携して、子どもたちに関わる地域行事を見直す。
⇒ただ、やみくもに止めるのは、地域の活力がなくなる。
発展的解消！を目指して、見直す。

⇒今の時代に合った地域行事・地域文化を、みなさんで共通理解して少しずつ創っていく。それが、この四中・八中地区の子どもたちの未来を明るくする。

○グループ懇談 <<班のイチオシ!の意見はコレ!>>

基調講演を受け、「気づいたこと」「考えたこと」「変えていけそうなこと」「増やすこと」「減らすこと」などについて、8グループに分かれて懇談を行い、各グループで話し合われたことを「班のイチオシ!の意見はコレ!」として発表しました。

何はなくとも情報共有!

**子どもが過ごしやすい地域であることが大切。
そのための地域同士の連携を深めていくことが大事。**

こどもの集まる場所は拠点地

**子どもがこの地域に住んでいる!
我ら一校区!!
大きなくりの考えをもとう!!**

**子どもの成長のため、まずは保護者が交流を深める!
結果として、地域活動に関わる人を増やす**

まず、みんなのことを知ろう!

伝統を守りながら、皆でやれる事を考えていきたい

**新しいものに乗かっていく!
前向きな気持ちを増やす!**

<<グループから出た意見いろいろ>>

「知らない、分からない」「前向きな気持ちを増やす!減らすのは文句!」

「横のつながりが減っても、縦のつながりを増やそう」

「知らないことが多いと、不安になる」

「災害は同じ日に起こる!防災訓練は同じ日に!」

「お互いを知る場を増やす」

「地域が広がると、見守りが広がる」

「増やすのは『子ども』と『予算』! 減らすのは『親の過剰な心配』!」



〈まとめ〉第八中校区地区懇談会 代表 中田 あき子 さん

皆様から様々な良い意見が出て、参考になることが本当にたくさんありました。その意見を持ち帰って、それぞれの場で深めていっていただきたいと思います。子どもたちが育っていくこの地域を、大和・鷺宮にこだわることなく1つの広い地域として、これからも皆さんでより良くしていきましょう。

～参加者の感想～ ーロメモより

○ 講演について

- ・先を見据えて、どう変わっていききたいか? を考えていけたらと感じました。
- ・子どもたちは慣れるのが早い。知らないのは大人なのだと思います。大人が変わることが大事です。
- ・これからの地域の在り方のヒントになりました。
- ・この地域の実態を知ることができました。
- ・学校主体から地域主体へ。
- ・統合に伴う意識改革が必要なの理解できた。
- ・自然な流れの中で、統合が特別なことではないように感じるようになればと思う。
- ・今まで想像すらしなかったことについて考えさせられました。

○ グループ懇談について

- ・生活圏と学区がすれてしまうことが、まだ想像してもわかりません。何かあった時に柔軟に対応できる姿勢を身に付け、受け入れていくしかないと思いました。
- ・地域の関わりのある方々と、本音で討論できた絶好の機会になったと思います。
- ・思うことは一緒です。子どものことを長〜く見ていきたいですね。
- ・みんなで共通の問題意識を持って話し合う場を持つことが大切。
- ・地域が元気になる方法を考えていかなければならないと思いました。
- ・こうした人と人のつながりが何より大切だな、と思いました。
- ・想いは似通っていることがわかりました。
- ・もっと意見交換したい。もっとたくさんの方に参加してもらいたいと思いました。

○ 合同地区懇談会について

- ・新しい時代の幕開けのような感じでした。明るく元気になりました。
- ・違う地域の連携が必要なので、このような企画はとても大事だと思います。
- ・中学校統合を見据えて、情報共有する重要な場になる。
- ・互いの活動を知る、互いの想いを知る、非常に良い機会であると感じました。

事務局より

美鳩小学校の佐藤校長先生の熱い思いと巧みな語りで、活気のある合同地区懇談会を開催することができました。各グループの発表では、まるで1つのグループで話し合ったかのような、同じ気持ち、同じ思い、同じ志が語られ、一体感が感じられました。

変化していくことのために多岐にわたる中、この地域で活躍する皆様が、柔軟で豊かな発想を持ち、子どもたちのために変わっていかようとする前向きな姿勢に励まされる思いでした。「もっと情報を共有したい」「話をしたい」という多くの期待に応えられるよう、今後も合同で取り組んでいきたいと思っております。

<<第四中・第八中学校区 合同地区懇談会 事務局>>

〈次世代育成委員〉 林 朱実 下山田 智恵 黒木 伸子 杉浦 聡
大和児童館 ☎(3330)3261 鷺宮児童館 ☎(3337)8430
大和西児童館 若宮児童館 西中野児童館